

許せません!政府・与党の強行

危険

有事法制って何?

ユー・ジ・ホー・セー

いま政府・与党は、これまで国民の反対で成立できなかった有事3法案を、今国会で強行しようとしています。その問題とは?

イラク侵略戦争のような戦争に日本が丸ごと参加

国連を無視し、何千人という罪のない人々を殺害したアメリカによるイラク侵略戦争——こんな無法な戦争に自衛隊が丸ごと参加し、武力行使も行えるようにするのが、有事3法案です

アメリカの戦争に国民をかりだす

こんな戦争に自治体や公共機関、民間企業、国民を強制的に動員するのが有事法制です。

NHKも民放も航空会社も運送業者もNTTも病院もガス・電力会社もあらゆる業種が戦争に動員され、協力を拒否した人は罰則も…。

「国民保護法制」なるものも、物資や土地、施設、家屋を強制的に使用・収用できるようにし、平時から国民を戦争体制に組み込むものです。

「修正」で何も変わらない

法案が一部「修正」されたことが宣伝されています。しかし、こうした法案の本質は何も変わらないもの。この戦争のための悪法は、廃案にするしかありません。



地方自治団体 公共団体 民間企業
(戦争のための措置を実施する「責務」を有する)

...たとえば...

「米国の先制攻撃だからといって(有事法制を)発動できないわけではない。」(4月24日答弁)



安倍官房副長官

「戦争協力を拒否した従業員を会社が処分しても憲法に反しない。」(5月9日答弁)



石破防衛庁長官

「(インド洋などで米軍を支援している)海外の自衛隊が攻撃されれば(武力行使が可能な)『武力攻撃事態』の認定はありうる。」(5月9日の答弁)



福田官房長官

戦争参加への道を食い止めるため、あなたの声を!

●抗議先=内閣総理大臣 小泉純一郎 殿

FAX 03-3581-3883 <http://www.kantei.go.jp/>

有事法制は許さない!
運動推進連絡センター